

WEEK NEWS

18th Jun. OF BIWAKO YACHT CLUB 1933.

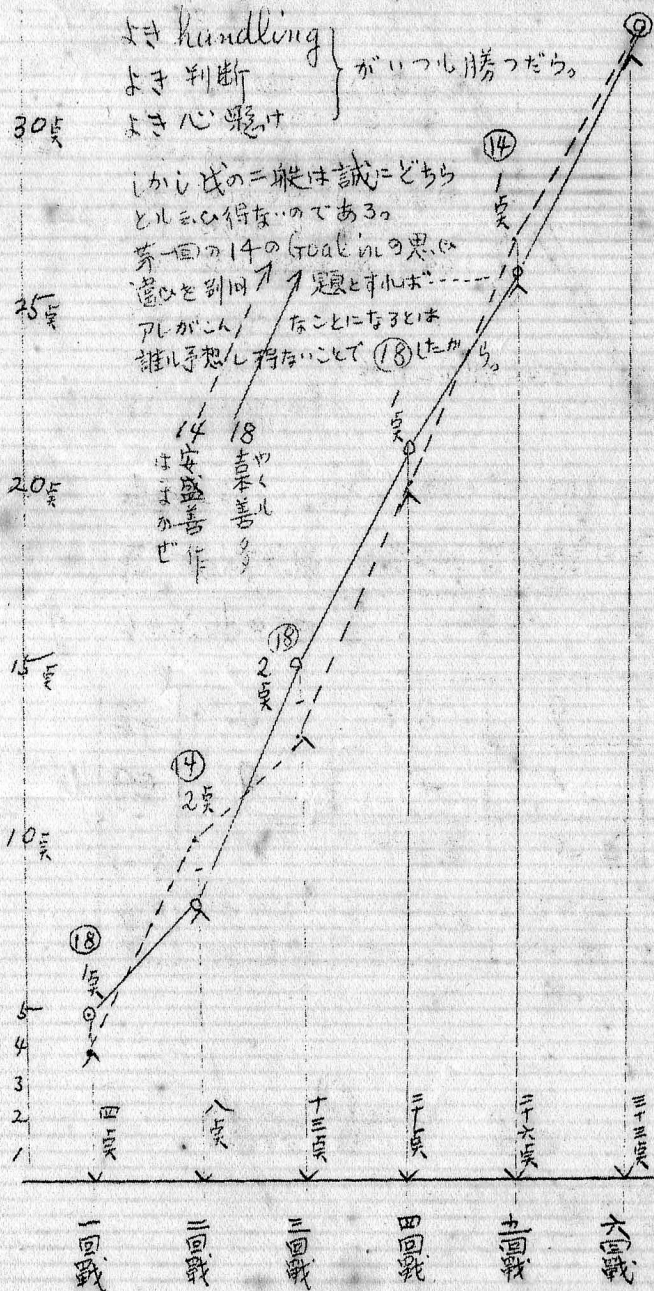
大 毎 極 レース 記 録

回戦	No 2 あかつき	No 6 かすみ 善正	No 8 さなみ 隆川	No 10 たね 鈴木	No 12 なご 各務	No 14 ほろ 安盛	No 16 まご 井上	No 18 やく 善善	計
1-5	0	23 点	5 点	19	11	27	15	26	126
6回	0	5	1	1	1	6	4	7	25
計	0	28	6	20	12	33	19	33	151

カウズ沖の興奮こいにあり。No 14. No 18. が第一回戦以来記録した快走は思えば思ふ程、興味が薄く次第だが最終戦は更らに帆走の独自の興奮をそゝるのがある。両艇の快走を希望する。此の二艇に最終戦をやらしたくないと思ふ位だ。軽い気分でやって貰いたい。より修養のチャンスだ。

六回戦迄の両艇の着順獲得数

No	一着	二着	三着	四着	五着	六着	七着	計
14	3	1	1	0	1	0	0	6
18	2	2	1	1	0	0	0	6



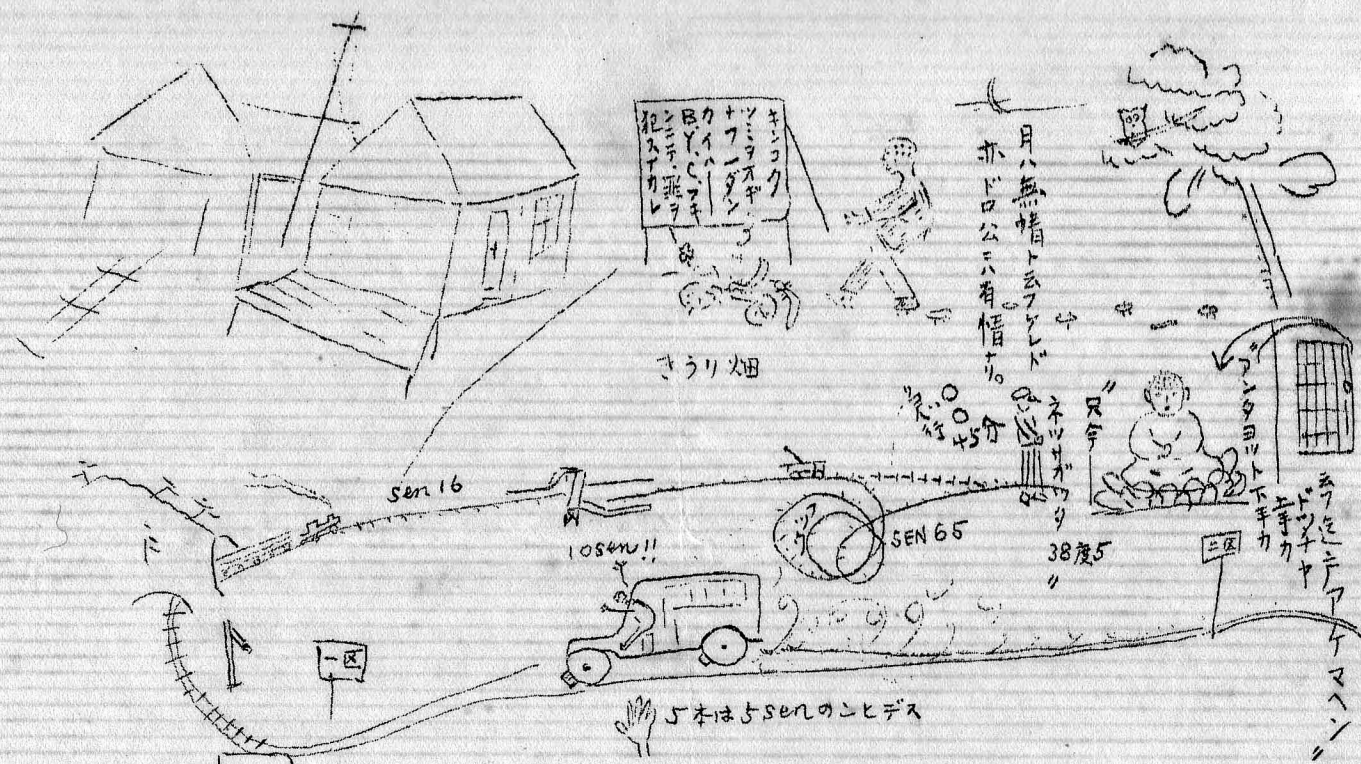
左のグラフで見ると前の回戦にリードせられておいて次の回戦にリードする為めに両艇間に交互作用した数値は幾許か振幅度ですね。これが次の回戦で、その active vessel 格は両艇 21 です。

振幅度 (約)	一	二	三	四	五	六	計
	6	7	6	7	6		
活々艇 (18)	14	18	18	14	14	18	14-3 18-3

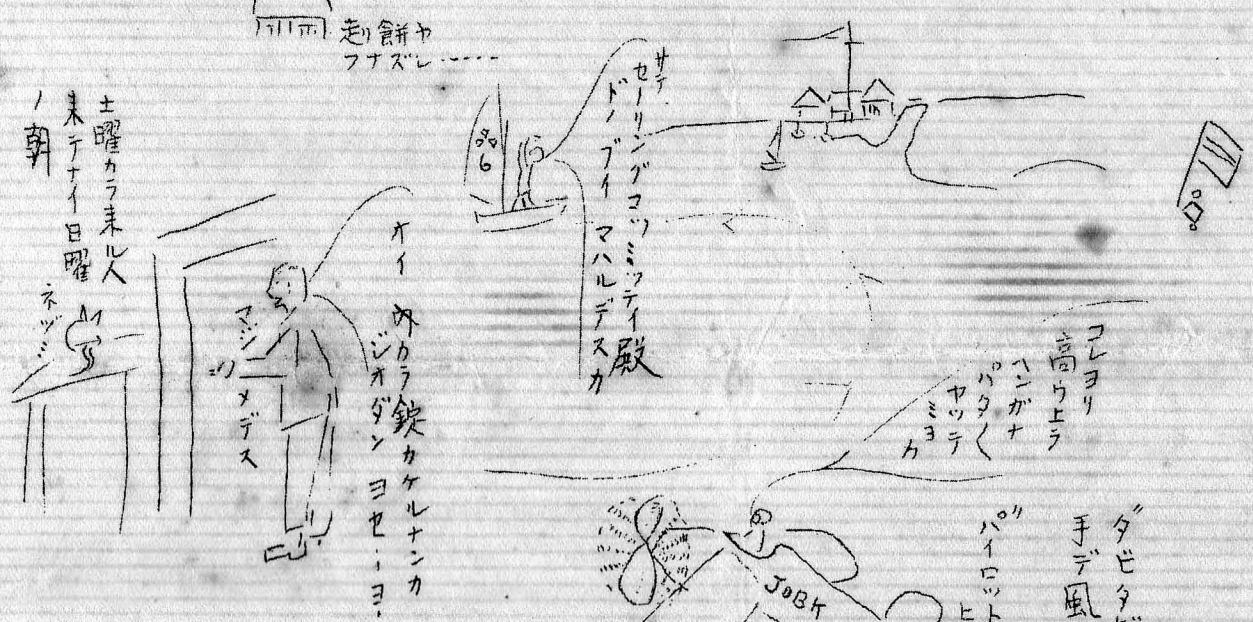
それで 14, 18. はいよいよ 復張つてくれること、思っています。6/25日がお勤めの都合ナニかでお困りの時は18日鈴木書記長へ申越して下さい。善多君の学校の都合もよろしいです。

連日、こうなれば両艇の艦隊は後方絡係でやる決心で、ほんとうに Yachtsman like にこの真面目のレースを期待に居ります。倶楽部全員の同感下さる事を祈ります。best をつくして下さい。Z 信号旗がホレクなってきた。亦、深まった気がする。いづれ他校、他学部との対戦で来たガムシヤラ関係、あつた丈に

(Ganz を征服する闘争の味、の体験は)



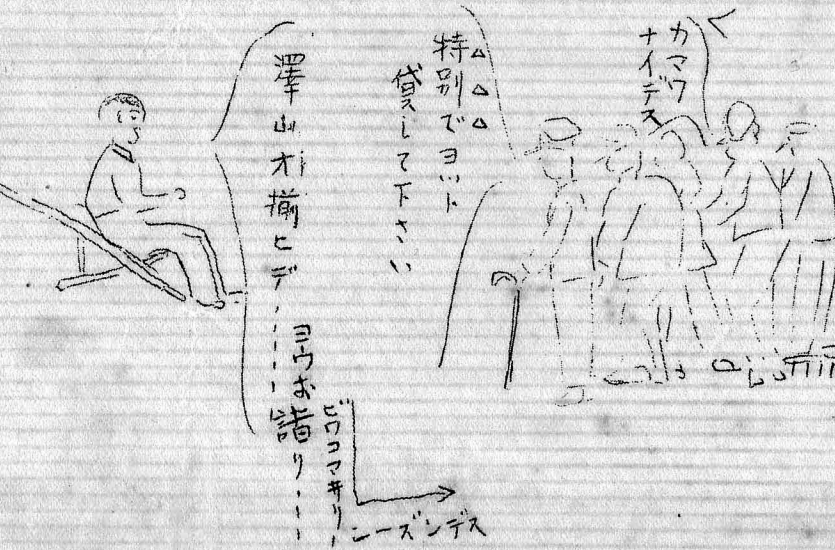
日本はSENのこヒデス



同族社軍
Serviceを乗り出す
の圖

学生Service軍
第一線 D.Y.C.
B.Y.C
第一線に
あり。

Service
修行の頃を思い出ス
あ、アリシヨノ君、姿ヤ
ナトナツカレイ
Service
デアル。



澤山オ揃ヒデ、ヨウホ諸リ、エロコヤリ、ニースデス

特別でヨット 貸して下さい

カマワ ナイデス